

令和元年度 第3回学校運営協議会記録

1. 日 時 令和2年2月25日(火) 13時30分～15時30分

2. 場 所 本校・校長室

3. 出席者 学校協議会委員(出席5名・欠席1名)

帝塚山学院大学教授	溝手 真理
学校歯科医	戸堂 耕造
高石市立高石中学校校長	南 良博
本校同窓会会長	山口 裕通
本校 PTA 会長	松田 直子

4. 協議概要 協議に先立って、

- ・「令和元年度学校評価について」、
- ・「生徒会活動について」、
- ・「広報・学校説明会について」
- ・「令和元年度進路状況について」
- ・「生徒状況について」
- ・「PTA 活動について」
- ・「各学年の状況について」

の報告を行いました。

以下、協議において出席委員から出された主な意見等です。

(広報について)

- 正面玄関奥の各クラブ等の表彰状等を掲示した棚を清掃し、賞状等を新しい時代のものに差し替え、見やすく配列し直したのは、大変良かった。棚の中やガラスもきれいに掃除されて、目を引くようになった。

- 新たにデザインされた学校の大きな応援の旗もインパクトがあつて良いのではないかと。様々な場面で活用してほしい。
- 事務室前のモニターで行事の写真をスライドで流すようになったのもよい工夫だ。生徒だけでなく、保護者、来客にも注目してもらえる。生徒の表情がうまく映し出され、よく高石高校の様子がわかってもらえるのではないかと。

(進路状況について)

※ 12月末現在の判明分のデータに基づいて

- 4年生大学、および主要な大学への合格者が増加しているのはよかった。良かったと思われる要因をしっかりと引き継いで指導していただきたい。
- 指定校推薦で合格が決まった生徒は、その後が大事。合格決定後の高校生活だけでなく、大学入学後もしっかり学習する姿勢が続いていないと、大学からの出身高校の評価が下がってしまうことになりかねない。

(生徒状況について)

- 最近、小学生、中学生を見ても感じるのだが、数%くらいのセルフネグレクト状態になっている児童・生徒がいる。心の問題を抱えているケースもあり、緩やかに増加しているのではないかと。対応は難しく、大変だろうが、そういうケースには丁寧な対応をお願いしたい。
- 指導については、大人が決めすぎてもいけないし、ルールをクリアするだけの生徒にはなってほしくない。自分でどうしていくかを決められる子供に育ててほしい。リーダー研修では、生徒が問題意識を持って、自ら考え、悩みなども共有する良いきっかけになっている。是非、続けるべきであろう。